

平和と民主主義分科会
「世界の今を歴史から読み解く」市民学習会・千葉県 AALA

安房支部 上田 敦子

1. はじめに

小学校教員を退職してから 10 数年、千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会の活動に関わってきた。そこでは、研究者や専門家を講師に招き、時々の世界の情勢を捉えて、その変化の背景をその国の歴史をたどりながら知る市民学習会を行ってきた。その中で、メディアが報じない側面を知り、また日本との関りにも触れながら学ぶことが多かった。時には、海外ツアーを企画し、現地で学び、人々との交流も行ってきた。

今回、報告を勧められ、これまでの活動を私なりに振り返る機会にしたいと思った。世界の動きを俯瞰することで、私たちが生きている時代を客観的に捉えることができ、その中でどう生きるのか、何をしたらいいのかを考えるきっかけとなる。この 10 年の活動がどうだったかを考えてみたい。

2. この 10 年間の活動を振り返って

2008 年から本格的に活動に関わってきたが、資料の散逸もあり、2015 年～2024 年の 10 年間の活動を簡単にまとめ、振り返ってみることにする。（敬称略、肩書は当時のもの）

黒字：千葉県 AALA 企画 赤字：ツアー企画

青字：共催・協賛企画（実行委員会に参加し、企画したものは省略）

戦争展ちばのみ記載）

2015 年 2 月 講演会「アジアの平和共存を考える」

講師：大村新一郎（日中友好協会副会長）

（共催：日中友好協会千葉支部、同東葛飾支部）

5 月 日本 A A L A 60 周年国際シンポジウム（於：国連大学国際会議場）
・中国、韓国、ベトナム、インドネシア、日本(2)のシンポジウム

5 月 沖縄ツアー（9 月）に向けての学習会

第 1 回学習会「『戦争する国』づくりー沖縄と千葉から考える」

講師：紙谷敏弘（共催：千葉県平和委員会）

8 月 ベトナムを知る講演と映画の集い（共催：シンチャオ会）

第 2 回学習会「『戦争する国』づくり STOP!

辺野古新基地建設とたたかう沖縄からの報告」

講師：大久保康裕（沖縄平和委員会）

9 月 22～27 日平和のための戦争展ちば（延べ 802 名参加）

同企画・講演会「憲法と安保法制」講師：山田朗（明治大学教授）

千葉県 AALA は、「ドイツの戦後補償」と「ASEAN の動き」を展示

9 月 28～10 月 1 日沖縄ツアー（主催：千葉県 AALA 29 名参加）

【主な国内外事象】

2014 年集団的自衛権の閣議決定以降、憲法改悪の動きが強まる中、安保法制反対の世論が大きくなる。翁長知事、「オール沖縄」で誕生

（2014 年 11 月）

IS（「イスラム国」樹立'14 年 6 月）の活動、活発化

シリア内戦による難民がヨーロッパへ流入

米キューバ、54 年ぶり国交回復-オバマ、ラウル・カストロ署名（7 月）

連日、国会包囲行動 8/30、10 万人が包囲

安保法制、強行採決（9/19）

翁長知事、辺野古公有水面埋立承認取り消し（2015 年 10 月）

11月 総会講演会「中東イスラム世界の現状を考える
 ー難民・紛争・そして日本の関与とは」
 講師:宮田律(静岡県立大学准教授・現代イスラーム研究センター)

2016年2月 朝鮮大学校博物館・高麗博物館見学(10名参加)

3月 講演会「日本近代史の中での中国ーマスメディアのあり方」
 講師:丸山重威(ジャーナリスト)
 (共催:日中友好協会千葉支部・同東葛飾支部)

9月 講演会「今、辺野古・高江で何が起きているのか」
 講師:早坂義郎(名護共同センター)

9月 千葉県母親大会で初めて分科会担当
 「日本の常識は世界の非常識」(女性の人権問題)

9月20~25日 平和のための戦争展ちば
 千葉県 AALA は、前年に引き続き「ヒトラーに抗した人々」を展示

9月 講演会「現代南アジアを学ぶーインド型民主主義の展開と課題」
 講師:中村平治(東京外語大学名誉教授)

11月 総会講演会「パレスチナの歴史と現在を考える」
 講師:尾崎芙紀(中東研究者)

12月 フィリピンツアーに向けた学習会
 「フィリピンを知ろう!ー米軍基地撤去の闘いから学ぶ」
 講師:松宮敏樹(ジャーナリスト)

トランプ大統領の勝利は、世界に大きな衝撃を与えた。

2017年1月16~20日 フィリピンツアー(13名参加)

2月 共謀罪学習会 講師:土居太郎弁護士(共催:日中友好協会千葉支部)

5月 フィリピンツアー報告会
 「米軍基地をなくし、原発を稼働させなかった国、フィリピン」
 コメンテーター:松宮敏樹(ジャーナリスト)

6月 中帰連平和祈念館訪問と「小江戸」川越の散策(11名)

10月 講演会「安倍改憲許さない!くらしに憲法を」
 講師:宮腰直子弁護士

10月3~8日 平和のための戦争展ちば(延べ485名参加)
 千葉県 AALA は、フィリピンツアーの報告を展示

11月 総会講演「トランプ政権でアメリカと世界はどうなる」
 講師:萩原 伸次郎(横浜国立大学名誉教授)

トランプ大統領、金正恩の米朝会談が朝鮮半島の非核化・平和をもたらすのではないかと希望をもたらしたが・・・。

2018年2月 講演会「中南米をめぐる情勢の変化とアメリカの介入」
 講師:新藤通弘(中南米研究者)

5月 講演会「中国の政治と社会はいま」講師:小林拓也(ジャーナリスト)
 (主催:日中友好協会千葉支部・同東葛飾支部、協賛:千葉県 AALA)

安保法制、施行
 (3/29)

第17回非同盟諸国首
 脳会議 in ベネズエラ
 (9月)

南スーダンへの自衛隊
 PKO 派遣で「駆け付け
 警護」付与 (11月)

トランプ大統領、就任
 (1月)

韓国、文在寅大統領就
 任('17.5~'22.5)
 共謀罪法案、可決
 (6月)
 核兵器禁止条約、国連
 にて採択(7/17)

Me Too 運動世界に広
 がる

トランプ大統領、エル
 サレムに大使館を移転
 (12月)

南北首脳会談・板門店
 宣言(4月)、(5月)
 史上初、米朝首脳会談
 in シンガポール(6月)

9月3～9日 平和のための戦争展ちば

9月 講演会「東北アジアの平和協力構想を考える」

講師：小森陽一（9条の会事務局長）

（共催：津田沼9条の会、日中友好協会千葉支部、千葉県 AALA）

10月 平和のための戦争展ちば戦跡ツアー in 館山

11月 総会講演「北東アジアの平和とアジアの未来」

講師：川田忠明（日本平和委員会）

2019年2月 講演会「朝鮮半島の政治文化を考える

-3.1 朝鮮独立運動 100周年に寄せて」

講師：趙景達（千葉大教授）

5月 沖縄・宮古島ツアー（7名参加）

6月 講演会「トランプ政権とラテンアメリカ情勢」

講師：田中靖宏（日本 AALA 代表理事）

9月10～15日 平和のための戦争展ちば

千葉県 AALA は、沖縄・宮古島ツアーの展示

11月 総会講演「日韓対立を乗り越えるために」

講師：加藤圭木（一橋大学教授）

11月 講演会「日韓問題 どうなる？どうする？」

講師：川田忠明（日本平和委員会）

（主催：津田沼9条の会、協賛：千葉県 AALA）

2020年1月 ラテンのつどい in ゴリ

2月 パレスチナ支援国際会議 in モスクワに参加して

報告：金光理恵（千葉県 AALA 会員）

* コロナ感染拡大に伴い、4月7日緊急事態宣言発令、5月25日解除。

以降も感染拡大の波が続き、活動を休止する。

9月15～20日 平和のための戦争展ちば

千葉県 AALA は、南西諸島への自衛隊配備について展示。

10月 講演会「中国の政治・経済体制をどう見るか、

これからの日中関係はどうあるべきか」講師：聴涛 弘

（主催：日中友好協会東葛飾支部、協賛：同千葉支部、千葉県 AALA）

11月 総会講演「人権と国際連帯を考える」

講師：渡辺 直子（JVC モザンビーク担当）

2021年* 緊急事態宣言発令（1月7日）により、1～2月活動休止。その後対面活動を休止し、ZOOM による会議や講演会開催が盛んになる。

7月 講演会「今、ミャンマーで何が起きているのか

— 私たちにできることは何か？」

講師：根本敬（上智大学教授）（主催：千葉県 AALA、共催：日本 AALA）

12月 交流会「だれもが生きやすい社会をめざして

— 性犯罪刑法改悪をめぐる状況からジェンダー平等を考える」

南北首脳会談 in 平壤、
平壤共同宣言（9月）

第2回米朝会談 in ハノイ、決裂（2月）

3.1 独立運動 100周年
フラワーデモ、日本各地で始まる

（4/11～、毎月11日）

第3回米朝会談 in 板門店（6月）

第18回非同盟諸国首脳会議 in アゼルバイジャン（10月）

中国武漢市でコロナ感染症、広がる。

WHO、コロナパンデミック表明

（2020.3.11）

バイデン大統領就任
（2021年1月）

ミャンマー、軍事クーデター（2/1）

安倍元首相、「台湾有事は日本有事」と発言
（12月）

* コロナ第 8 波のため、対面の総会を中止し、翌 1 月紙上総会とする。
2022 年 3 月 学習会「ASEAN について、学びませんか」話：上田敦子
(主催：習志野地域 9 条の会)

4 月 在日ベトナム人(留学生・技能実習生)の支援をしている方を取材
5 月 学習会「紛争が起きてでも戦争にしない ASEAN の挑戦から学ぶ」
話：上田敦子 主催：館山新婦人支部
6 月 講演会「ウクライナ問題と国際平和秩序」
講師：田中靖宏 (日本 AALA 代表理事)
7 月 知恵袋講座「AALA 活動と ASEAN ツアーから学ぶ」話:上田敦子
(主催：NPO 安房文化遺産フォーラム)

11 月 11～13 日平和のための戦争展ちば

千葉県 AALA は、南西諸島への自衛隊配備問題を展示

2023 年 2 月 講演会「アジアを戦場にさせないために」
講師：羽場久美子 (青山学院大学名誉教授)
7 月 講演会「ミャンマーは、今一 ミャンマーを忘れない！」
講師：ナンミャケーカイン (京都精華大学准教授)

9 月 14～17 日平和のための戦争展ちば

スピノフ上映「戦雲」、宮古島と ZOOM 沖縄対話 PJ

千葉県 AALA は、引き続き南西諸島への自衛隊配備問題を展示。

11 月 総会講演「ASEAN と共に切り開く東アジアの平和」
講師：田中靖宏 (日本 AALA 代表理事)

2024 年

年間テーマ「グローバルサウスを知ろう」を設定し、講演会を企画。

2 月 中東地域:講演会「今、中東で何が起きているのか？」
講師：平井文子 (アジア・アフリカ研究所理事)
2～6 月、月 1 回能登半島地震で被災した外国人技能実習生への支援のため街頭カンパを行う。

9 月 東南アジア地域:講演会「平和と繁栄のための地域協力機構
ASEAN に学ぼう」講師：鈴木勝比古 (ジャーナリスト)

10 月 11～13 日平和のための戦争展ちば

千葉県 AALA は、ミャンマーの子どもの絵の展示、ナンミャケーカ
インさんとの交流、南西諸島の写真展示(沖縄平和サポート提供)
講演会「武力で平和はつukれない」
講師:田中靖宏(日本 AALA 代表理事)

11 月 中南米・カリブ地域:講演会
「激動する中南米・カリブの今一主権をめぐる闘い」
講師：新藤通弘 (中南米研究者)

2025 年 2 月 アフリカ地域:講演会「アフリカ、紛争・飢餓・難民」予定
講師：福田邦夫 (明治大学名誉教授)

ロシアのウクライナ侵
攻 (2/24)

韓国、尹錫悦大統領就
任 (`22.5 ~ `24.12 弾
劾可決)

DSEI JAPAN 武器見本
市開催 in 幕張メッセ、
抗議行動 (3/15)
コロナ「第 5 類」へ
(5 月)
木更津にオスプレイ
全 17 機配備 (7 月)

ロシアのウクライナ侵
攻、イスラエルのガザ
攻撃をめぐり、国連の
場でグローバルサウス
の動きが際立つ

第 19 回非同盟諸国首
脳会議 in ウガンダ
(1 月、日本 AALA2 名
代表派遣)

アサド政権、崩壊
(12/8)

尹錫悦大統領、「非常
戒厳」発令、国会弾劾
可決 (12 月)

第 2 次トランプ政権、
誕生 (2025 年 1 月)
DSEI JAPAN 武器見本市
in 幕張メッセ
(5/21～23)

3. 感想から見えてくるもの（年代、性別は記入のあるもののみ掲載。性別は途中から項目無し）

*手元に保存してあった感想から一部掲載した。

①「南アジアは 今—インド型民主主義の展開と課題から見えてくるもの」 (2016.9.6)

・他国で生活したり、他国について学習することは、日本をより客観的に観る糧となる事が確かめられました。(60代、男性)

・「地域世界」としてつかむことが大事だと強調され、南アジア地域協力連合についての話は、初めて聞く話ばかりで、興味深いものでした。地域が協力して大学をつくったり、サミットを開いて交流を深めるなど、紛争を戦争にしない努力がここでも広がっているんだと感じました。過去に武力を交えた国同士が、新しい歴史に踏み出している姿はすばらしいもので、日本、韓国、中国、北朝鮮、ロシアなど北東アジアでも、早く踏み出したいものです。(60代、男性)

②「フィリピンの米軍撤去の闘いから学ぶ」 (2016.12.9)

・フィリピンの国民のねばり強い活動に拍手です。日本もこれに見習ってやっていきたいですね。(60代)

・領有権の問題は、戦争にしないASEANの姿勢を知る大切さがわかりました。(60代、女性)

・基地があるということで、主権から人の尊厳まで大きな影響があるということが、沖縄の基地問題と似ていると思いました。フィリピンの基地撤去を理解できない日本人のマスコミは、沖縄の米軍基地のことも理解できないだろうと思いました。(30代、女性)

③「朝鮮半島の政治文化を考える」 (2019.2.22)

・隣国理解の努力—歴史教育の欠陥を考えざるを得なかった。(60代、男性)

・「3.1」について、全く知りませんでした。 「朝鮮」が少し自分なりにわかった感じがします。

「朝鮮」について、もっと教科書に書くべき—その通りだと感じました。

・テレビ、新聞では、毎日のように韓国、中国のネガティブキャンペーンが声高に拡大されていて、ポジティブな現況は報道されません。(70代、男性)

④「ミャンマーは いま—私たちにできることは」 (2023.7.30)

・報道から得られない話がたくさん聞くことができ、大変有意義でした。(70代)

・ミャンマー軍事政権を支援している日本政府を監視することが必要ですね。ニュースに関心をもって知っていきます。

・日本のマスコミは、取り上げても弱い。日本の財界の国軍支援も十分に明らかにされていない。なぜだろう？

⑤「今、中東で何が起きているのか」 (2024.6.22)

・今回のガザ戦争が、単純に民族対立、宗教対立ではなく、石油や天然ガスの確保も絡んだ植民地拡大の意図のもとに続けられているんだということがよくわかりました。既成事実がすべてを押しつぶしていくのだろうか。イスラエルの独裁国家化に危機感を持ちます。

⑥「平和と繁栄のための地域協力機構 ASEAN に学ぼう」 (2024.9.21)

・アセアンの話は初めてで、よく理解できたとは言えないと思いますが、入門としてとても勉強になりました。日本は関係していないと思っていましたが、日本も参加する会議であることを知り、驚きました。今後、ニュースに注目していきます。

⑦「激動の中南米・カリブ海のいま—主権をめぐるたたかい」 (2024.11.16)

・アメリカの裏庭、中南米の実態をこれほど詳細に知ったのは初めてです。日本もそんなに異なるものではないのだと、戦後史は語っていると思う。我々は、再度日本の実態を想起すべきものと思わされた。

4. 市民のための市民による学習講演会の成果と課題

千葉県 AALA は、非核・非同盟、自主独立を掲げて活動する、70 年の歴史を持つ市民運動団体日本 AALA の千葉県支部である。私に関わったのは最近の十数年だが、講演会を中心に拾いだし、その時々
の主な国内外の事象を並べてみたが、まさに激動の時代を生きていることを感じる。講演会以外にも
他の市民団体と共催・協賛して、あるいは実行委員会に参加して、様々な取り組みを行ってきたが、
中心的な活動である講演会について振り返ってみる。

《成果》

・大手メディアが報じない事柄――一時的で表象的な事象ではなく、なぜその事象が起きたのか、その
歴史的な背景を解説する講演会は、参加者の関心に応えたもので理解を深めることができた。そのた
めには、研究者、専門家とのつながりが大事で、市民の学習の場にもっと登場してほしいと思う。市
民からの積極的な働きかけが必要だろう。(③⑤)

・単に海外の事象について学ぶだけではなく、日本を客観的にみること、日本との関りについて知る
ことも大事だ。やはりこの面でも、マスコミの報じ方は弱いと思う。政府や大企業への忖度だろうか。
これも、講演会参加者が感想の中で述べている。(①②④⑥⑦)

・学んで、意見表明すること、行動することが大事だ。この点では、ツアーを計画して現地に赴き、
視察・交流をしてきた。この10年では、沖縄(2回)、フィリピンを訪問している。また、「平和のた
めの戦争展ちば」でツアー報告をしたり、写真を展示したりして、学んだ内容を広める努力をしてき
た。

《課題》

・講演会参加者が60代、70代が中心で、若い層の参加が少ない。紙媒体での宣伝が中心のため、若い
人には情報が届かないこともある。SNSでの発信をと反省会で毎回出るが、担い手不足ということが
ある。これが、もっとも大きな課題だ。

・地域支部がないため、講演会の開催地域が交通の便のよい船橋、事務所のある習志野が多い。県下
には広く会員がいるので、会員に依拠して講演会を計画すれば他地域での開催も可能だが、まだ実施
に向けて動いていない。かつて、千葉市、船橋市、松戸市に地域支部をつくろうと集まりを持ったが、
中心になる人がいず、途中で消滅してしまった。やはり、活動を担う人材が必要ということだ。

・コロナ禍で ZOOM を使用して、遠隔地からも参加者できるようにしたが、ZOOM での参加者が少な
かった。会員に高齢者が多く、機器の使用に不慣れなことが原因ではないかと思う。SNS での発信と
合わせて情報機器・システムをうまく活用していくことが求められている。

以上